

ワクチン需要予測の調査概要

資料J

- ・調査時期: 2007年10月
- ・調査対象: 全国25万世帯が無作為抽出されているパネルから地域、年齢で層別抽出した3,000世帯に発送、2,259世帯から回収を得た。

インフルエンザワクチン需要分析

- ・分析対象: 10歳未満1451人、10歳以上20歳未満967人、20歳以上65歳未満3082人、65歳以上195人の4分類
- ・分析方法: インフルエンザワクチンの接種希望は仮想的質問法とし、費用、接種場所、接種回数、10代タミフルの禁止の状況を仮想的に想定し、接種するか、しないかを選択する、8つのシナリオとした。推定はConjoint Analysisで行った。

需要予測 本数	10歳未満	10歳代	20歳以上 65歳未満	65歳以上
単位: 万本	318.2	399.3	646.9	691.7
[95%IC]	[309.9-326.3]	[381.8-416.7]	[629.4-664.6]	[578.8-806.7]

タミフルの使用禁止の場合の影響についても調査したが、年代別で禁止の場合に0.86～1.98%増の影響しかみられなかった。

需要予測 本数 合計	今回調査	2056.4 [1900.1—2214.6]万本
	4月調査	2081.3 [1977.6—2185.0]万本

MRワクチン需要分析

- 分析対象: 現行の2回接種が終わった小学校2年生以上18歳未満2166人
- 分析方法: MRワクチンの接種希望は仮想的質問法とし、中1高3時相当時の接種場所や保護者同伴の必要性を仮想的に想定し、中1高3時相当に接種するか、それ以外の時期に接種するか、接種しないかを選択する、4つのシナリオとした。

図1. 中一、高三相当時に医療機関で/保護者必要

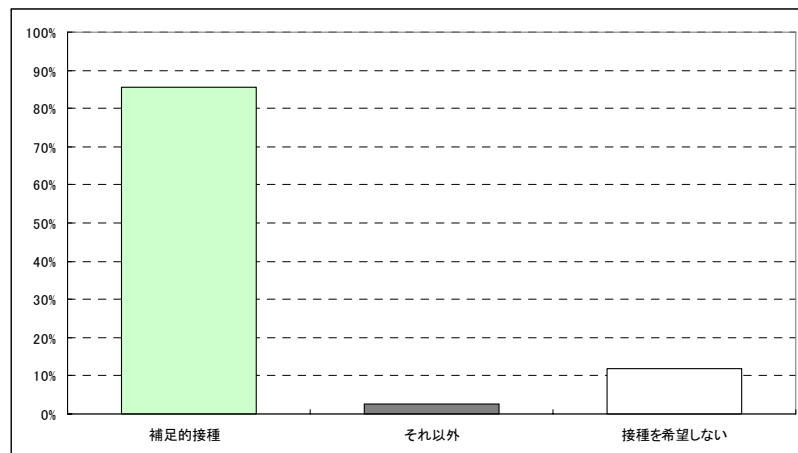


図2. 中一、高三相当時学校で/保護者必要

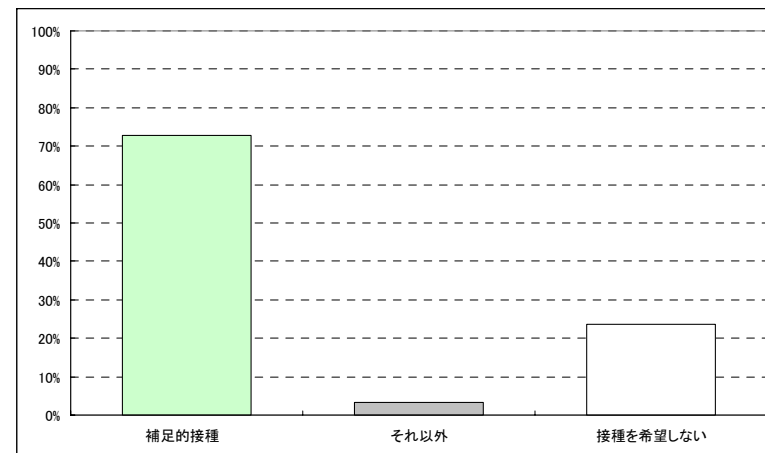


図3. 中一、高三相当時医療機関で/保護者不要

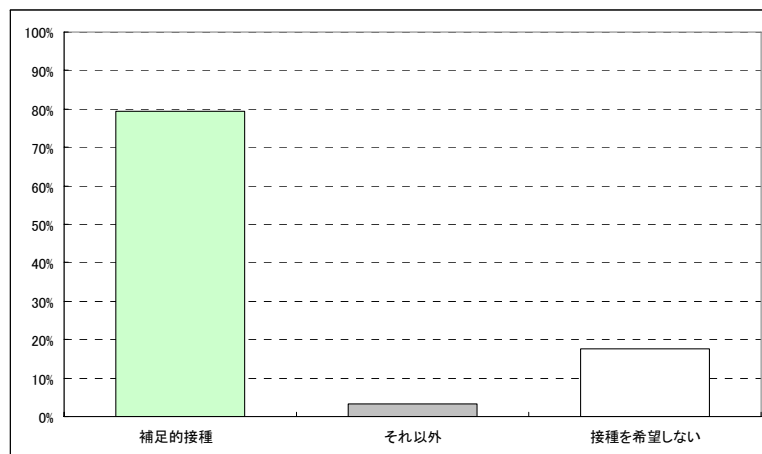
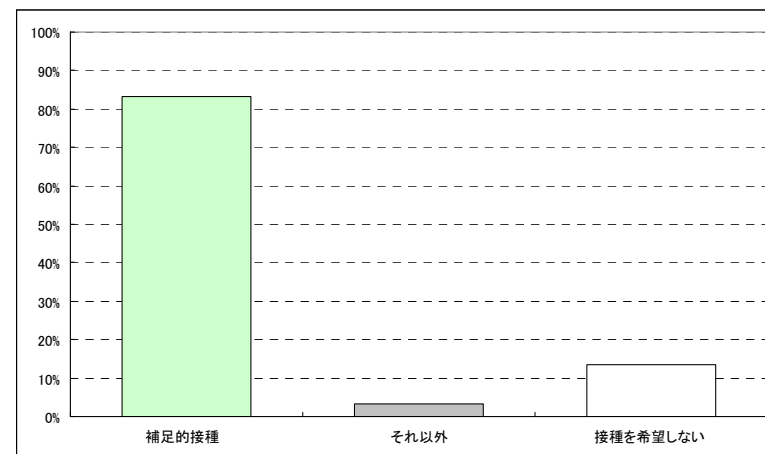


図4. 中一、高三相当時学校で/保護者不要



Hibワクチン需要分析

- ・分析対象:5歳以下の子供を有する807世帯
- ・分析方法:Hibワクチンの接種希望は仮想的質問法とし、費用、副反応、国や自治体の勧奨について仮想的な状況を想定し、接種するか、しないかを選択する8つのシナリオとした。

Hibワクチンを知っている人		3.7%			
推定結果	自治体独自の勧奨	国が勧奨		認知	
	28.9%ポイント増加*	49.1%ポイント増加*		86.2%ポイント増加*	
自己負担額	26000円	28000円	30000円	32000円	34000円
接種率 単位:%	10.0%	7.24%	5.24%	3.79%	2.74%
[95%IC]	[0.04-77.9]	[0.02-72.8]	[0.01-67.6]	[0.005-62.4]	[0.002-57.3]